

鳥羽商船高専・鈴鹿高専と意見交換会を開催

＜高専、情報通信研究機構及び当局がICT・IoT研究開発について意見を交換＞

東海総合通信局(局長 吉武 久)は、令和2年1月23日に鳥羽商船高等専門学校(三重県鳥羽市)、2月21日には鈴鹿工業高等専門学校(三重県鈴鹿市)において、両校の研究者・地域連携部門と情報通信研究機構(NICT)の担当者との意見交換会を開催しました。

高専では、防災や農業、医療・福祉など地域課題の解決に向け、ディープラーニング(深層学習)を用いた研究などこれまで蓄積されてきた技術等をベースに、地域と密着した共同研究プロジェクトを進めています。当日は、両校が取り組む地域課題解決に向けた研究をICT・IoT研究開発の視点から意見交換を行いました。

東海総合通信局からは、ICT分野における研究開発課題を大学や高専等から広く公募する「SCOPE(注1)」と全国の高等専門学校生を対象とした「高専ワイヤレスIoTコンテスト(注2)」を説明し、提案方法や評価のポイントについて率直な意見交換と質疑を行いました。NICTオープンイノベーション推進本部の担当者は、データ連携・利活用による地域課題解決のための実証型研究開発など「令和2年度新規委託研究の公募」を紹介しました。

高専の参加者からは「極めて有意義であった」、「多くの研究者に参加させたいので定例的な開催をお願いしたい」、NICTからは「地域の若手研究者発掘の面からも総合通信局と協働して進めたい」との意見が寄せられました。

東海総合通信局では、今後とも高専研究者・地域連携部門との関係構築に向けて取り組みを強化して、ICT・IoT分野における研究開発の裾野を広げてまいります。

【注1 SCOPE:戦略的情報通信研究開発推進事業】

Strategic Information and Communications R&D Promotion Programme

ICT分野の新規性に富む研究開発課題を研究機関等から広く公募し、外部有識者による選考評価の上、研究開発を委託する競争的資金。新たな価値創造、若手ICT研究者の育成、中小企業の斬新な技術の発掘、ICTの利活用による地域の活性化、国際標準獲得等を推進するもの。

【注2 高専ワイヤレスIoTコンテスト(WiCON2020)】

高等専門学校の学生を対象に、第5世代移動通信システム(5G)やワイヤレスIoT技術を活用して新たなビジネスやサービスの創出、地域課題解決のアイデアを競うコンテスト。

鳥羽商船高等専門学校の参加研究部門

情報機械システム科、商船学科、学生課
総務課企画担当、地域連携担当



鈴鹿高等専門学校の参加研究部門

電気電子工学科、電子情報工学科、機械工学科
社会連携室

